

<p>海軍防備隊 指揮官</p> <p>隊司令 佐世保鎮守府 面防備隊 世保鎮守府 長佐世保海軍 航空隊司令</p>	<p>十九日〇七〇六 第八艦隊參謀 長</p> <p>十九日一五五〇 佐世保鎮守府 第一艦隊參謀長</p> <p>柳合艦隊 方海軍 第一海上 司令官</p>	<p>十九日一四三三 佐世保海軍 艦隊司令</p> <p>十九日一七四〇 佐世保鎮守府 南警備隊司令 官佐世保海軍 航空隊司令 航空隊司令</p>
<p>八月五日二十日以降當分ノ圖作戦ニ關シ 大島防備隊司令ノ指揮ヲ受クベシ</p> <p>無</p>	<p>機密第一九〇七〇六番電 大海軍機密第一五六號ノ由ニ依リ當隊編 入隊冠ノ左記各艦ハ成ルベク速ニ「ラバ ウル」ニ進出セシメラレ度 新月、第五、第十二、第十三艦隊當務 船（以上六月一日附）</p>	<p>機密第一九一四二三番電 佐世保鎮守府第三六號ニ依ル第二次進出 ヲ左ノ如ク 飛行機艦隊機密機、一式艦艇機一機</p>

海軍二三

十九日一八〇〇	十九日一七二六 佐世保鎮守府 海防備隊 指揮官	大海軍第一部長 高橋 謀方 長	十九日 三一五〇	十九日 一九四五 佐世保防備隊司令 佐世保鎮守府 謀長 長航空 官 長 平島	<p>(増加員六名) 二十二日發</p> <p>一 基地員及物件、増加基地員二一名二十</p> <p>四日佐世保發高進行ノ際定(二十九日</p> <p>高懸着ノ際定)</p>
機務第一九一八〇〇番電	<p>機務第一九一七二六番電</p> <p>電令作第一九號</p> <p>一 東洋丸二十二日長崎發東經一二六度一</p> <p>九分北緯三一度五四分ニテ海底電線修</p> <p>理ノ際定</p> <p>二 佐世保防備隊司令ハ特設艦備離一隻ヲ</p> <p>二十二日夕刻迄ニ富江灣ニ派遣東洋丸</p> <p>ト打合せノ上石作業中警戒ニ任ゼシム</p> <p>ス</p>	編	無		

海 軍



三、所裝兵器、艦營備品、材料等

昭和十二年軍房機密第四五三八號訓令

及同年陸本機密第一九一四二號海陸ニ

準シ貸與又ハ供給スルモノトス

但シ艦營備品定額表定數外トス

兵完 成 期

成ルベク速ニ

四、費 目

(1) 工學費及工廠ヨリ供給ノ材料

臨時軍學費 臨時軍學費 造船造兵

及修理費 修理費 一般修理(船)

(機) (砲) (水) (電) (線)

(艇) (光) (指配付豫算内支辨ト

又

(2) 軍需部ヨリ供給ノ艦營備品

臨時軍學費 臨時軍學費 艦營費

又

費

十九日  
佐世保鎮守府  
司令長官

五附 記  
艦隊

夜務解除ノ際八成ルベク速ニ復舊スル  
モノトス

機密 佐世保鎮守府命令第一八一號

佐世保鎮守府命令

左ニ依リ船員ニ對シ海上交通保護關係教  
育講習ヲ實施スベシ

目 的

戦時下船長以下全船員ノ素質ヲ向上セ  
シメ現時局下ニ於ケル船舶乗員トシテ  
ノ須知事項ヲ徹底セシムルニ在リ

指揮官

長崎、三池、伊萬里灣各在勤海軍武官暨

受講者

各擔任海灣在泊中ノ船長、運轉士、機  
 關長、無線通信士、見張員、信號員其  
 ノ他必要ト認メタル船員

四 實施場所  
 各武官府又ハ在泊船舶内適宜

五 實施要領

(1) 方針

(一) 船員ノ取調精神ヲ昂揚シ且最後迄  
 自船ヲ護ルノ不屈不撓ノ精神ヲ涵  
 養スルト共ニ指揮掌握(上命下服)  
 ノ要領ヲ認識セシム

(二) 對潛對空警戒、見張攻撃、應急處  
 置ニ關シ遺漏ナカラシム而シテ當  
 當リ對空ヨリモ對潛教育ニ重點ヲ  
 置ク

(三) 教育資料ハ從來配付ノモノニ依ル

文

書

ト共ニ出來ル丈大東亞戰爭對潛對  
 空ニ關スル戰史上ノ事實ヲ引例戰  
 訓ヲ體得セシム

(四) 教育ハ差當リ緊急重要ト認ムル事  
 項ヨリ逐次實施シ累積効果ヲ得ル  
 如ク計畫實施ス

(四) 項 目

(一) 精神陶冶ニ關スル事項

(二) 體術並ニ運動ニ關スル事項

(三) 對潛對空警戒見張ニ關スル事項

(四) 自衛兵器活用敵潛攻防ニ關スル事  
 項

(五) 應急作業ニ關スル事項

(六) 通信、偵察、暗號、機密保持等ニ  
 關スル事項

(七) 海軍用語、海軍常識ニ關スル事項

著

	<p>(八) 船員ノ取扱、船員ノ心得ニ關スル事項</p> <p>(九) 各營港地ノ水路ニ關スル事項</p> <p>(十) 其ノ他特ニ必要ナル事項</p> <p>六時 機</p> <p>(一) 長崎、三池各在勤海軍武官ハ適當ナル期日(毎週三回以上)</p> <p>(二) 伊良湖灣在勤海軍武官ハ毎船團出港並適當ナル時機</p> <p>五時 機</p> <p>(一) 船隊長心得(海軍省)</p> <p>(二) 戰時船長服務心得(昭和十六年度)</p> <p>四時 機</p> <p>(一) 海軍省)</p> <p>(二) 特設艦隊(武裝商船)射撃指揮要</p> <p>三時 機</p> <p>(一) 教育局)</p> <p>(二) 教育參考資料(一般)第八編船員</p>
--	--

文

警



ニ書ク(教育局)	(四) 戦時日本船舶噸方噸別噸稅規程	(海軍省)
(五) 陸船隊運動規程ニ關シテ規程(海軍省)	(七) 船舶噸價規程(海軍省)	(八) 教育彙報(他)第十六號
特設運送船(徵備船) 武装商船ノ 機銃、小銃使用ニ關スル守則及別 艦艇領班ニ兵裝取扱ニ關スル考 察(教育局)	(九) 教育參考資料(機雷)第七號	船舶ノ對潜水艦戰ニ關スル參考 資料(教育局)
(十) 教育參考資料(機雷)第八號	船舶機雷戰ニ關スル參考資料(教育 局)	

十九日  
佐世保鎮守府

機密佐世保鎮守府命令第一八三號

①教育圖書資料(通訊)(第十二號)  
 ②出版應急圖書、叢書、運動、見  
 張、通信、運轉圖書(教育局)  
 ③海上交通保護圖書資料其ノ一、其  
 ノ二(本府)  
 ④其ノ他既配布ノ潜水艦關係通信運  
 動關係印刷物  
 ⑤無(通報)

提出(通報)管類 郵數提出(前提出)通報  
 報)先期提出(通報)日

實施方 案	二 本 廠	其ノ都度
所妥敷所在船隻	一 本	廠每一ヶ月毎

實施經過ノ概要並ニ所  
 見

海 軍 三



二四〇白市驛ヨリ梁山ニ進出セリ  
 三越飛機場ハ本日ノ爆撃ニヨリ滑走路無  
 使用不能トナル(命中彈滑走路ハ滑走  
 路外約三〇)  
 四桂林ハ次ノ各地ニ對シ明日ヨリ當分ノ  
 間氣象ノ傳報ヲ要求セリ  
 上饒、溫州、貴陽、瀘益、清鎮  
 五本朝來在支米線軍系ニ(五五九)ナル  
 電報出現之ヲ中心トスル交信交際氣象  
 ノ交換盛ナリ同電報ノ位置不明ナルモ  
 感度ヨリ贛州又ハ吉安ト判斷シアリ  
 六梁山飛行場ハ最近同地ニ第二十八師進  
 出セルヨリ見テ修築完成シアルモノト  
 認ム  
 七明日ノ天候中南支(奥地ヲ含ム)共良  
 好ノ見込但シ福建海岸方面ハ曇

續

海軍二四

<p>十九日一八四一 上海根據地隊 司令官</p>	<p>二十日 ○六五〇 佐世保鎮守府 長 佐世保第六警戒隊 部長 佐世保第六警戒隊 各指揮官 佐世保防備隊 司令官 伊萬里 海軍防備隊 佐世保海軍航空 佐世保海軍航空 長 佐世保海軍航空 司令官 佐世保海軍航空</p>	<p>以上ノ狀況ヨリ見テ敵ハ明日出撃ノ企圖 アリト認ム 出撃方向ハ不明ナルモ次ノ個所ハ特ニ早 朝ヨリ警戒ヲ要ス 沙市方面前線、漢口、岳陽、金嶽、杭州 方面前線、上海、南京</p>
<p>機密第一九一八四一番電 支第一九艦團大安丸陸兵一五四九名續 石八三〇〇砲、宮崎丸續石五二〇〇砲 以上八艦行、潮和丸登石二五〇〇砲博 多行、東泰丸續石四四二八砲大阪行 機密艦平島速力八節 十九日一九〇〇吳淞被大瀨崎直航二十 一日二一〇〇富江沖着古志岐島附近ニ テ解列二十二日〇九〇〇六速島着ノ豫</p>	<p>無</p>	

海軍



<p>十七日 海軍大臣</p>	<p>二十日 佐世保防備隊 隊司令官</p>	<p>二十日 佐世保留守司令官</p>	<p>(上父浦隊本部) 二十日 佐世保海軍航空隊 沖島防備隊司令官 大島防備隊司令官 佐世保防備隊司令官 沖島防備隊司令官 佐世保防備隊司令官 佐世保防備隊司令官 佐世保防備隊司令官 佐世保防備隊司令官</p>
<p>宣房線機密第八七五號 青島海軍航空隊(假稱)ニ 兵器裝備ノ件訓令 第二十一海軍航空隊ヲシテ青島ノ件左記 ニ依リ施行セシムベシ 記</p>	<p>機密第二〇一七〇五番電 朝鮮海軍快洋丸、北廣丸左ノ行動決定ヲ 以テ軍艦進出セシメタルニ付之ガ間接談 當取ニ連絡ニ關シ然ルベク取計ハレ度 五月二十日佐世保機密二十三日大島機密二十 四日機密二十五日那霸機密二十六日機密二十九 日船停泊三十日機密三十一日機密機密六月一 日機密三日高機密</p>		

海軍 三七

丁 工事器具

第三十一海軍航空隊機庫管ノ次項記載並ニ  
 備長田管兵隊ノ青島海軍航空隊(假機)  
 卜助機ノ上同隊ニ整備スルモノトス  
 与所共ニ

品名	数量	配	事
プロペラ鉤合試験機 二型	一組		
同機速度計試験機 陸上用 二型	一組		
油壓計試験機 潤滑油燃料油兼用	一組		
磁石發電機試験機 陸上用	一組		
磁石發電機試験機	一組		
酸化機 試験機	一組		
燃料計 試験機	一組		
速度計 試験機 陸上用	一組		
高度計 試験機 陸上用	一組		

警







旅順根據地隊司令官

高橋	吳	保	守	守	守	守	守	守	守
南	岩	小	新	後	後	後	後	後	後
村	林	見	藤	藤	藤	藤	藤	藤	藤
第	第	第	第	第	第	第	第	第	第
二	二	二	二	二	二	二	二	二	二
南	南	南	南	南	南	南	南	南	南
道	道	道	道	道	道	道	道	道	道
艦	艦	艦	艦	艦	艦	艦	艦	艦	艦
隊	隊	隊	隊	隊	隊	隊	隊	隊	隊
司令	司令	司令	司令	司令	司令	司令	司令	司令	司令
長官	長官	長官	長官	長官	長官	長官	長官	長官	長官

ニ指示

無

一 鎮海警備府司令長官ハ普通機雷約六〇

〇個ヲ以テ朝鮮南西岸支那大陸間ニ

對體用澤々度機雷堰ヲ構成スベシ

二 吳鎮守府司令長官ハ西貢丸ヲ第二南遣

艦隊司令長官ハ新興丸ヲ第四艦隊司令

長官ハ高榮丸ヲシテ右機雷堰敷設ニ關

シ鎮海警備府司令長官ノ指揮ヲ承ケシ

ムスシ

三 吳鎮守府司令長官、佐世保鎮守府司令

長官、舞鶴鎮守府司令長官ハ前記機雷

ノ準備等ニ關シ所要ノ協力ヲナスベシ

源



ル迄ノ間ニ本籍ヲ他所管ニ轉シタル  
 者ハ關係鎮守府聞ニ於テ協議ノ上本  
 人ノ兵籍ヲ機宜決定スルモトヲ得  
 此ノ場合海軍大臣ノ定ムル所ノ鎮守  
 府別召集人員ハ別ニ令ナクシテ彼此  
 増減ス

(四) 海兵團參署ノ際身體又ハ其ノ他ノ  
 理由ニ依リ當該兵種ニ不適ト認ムル  
 者ノ中他兵種ニ適スト認ムルモノハ  
 海軍大臣ノ定ムル兵種別充員召集員  
 數ニ拘ラス兵種ヲ變更シ之ニ二等兵  
 ヲ命スルモノトス

(五) 鎮守府司令長官ハ特別ノ事由アル  
 者ニ對シテハ充員召集ヲ行ハサルコ  
 トヲ得

二 第二補充兵及第二國民兵（海軍ノ兵

文

警

海 軍 一 五 三

(イ) 備ニ在ル者ヲ除ク

(ロ) 本人ニ對スル召集ノ通知ハ陸軍ニ於テ臨時召集ニ依リ之ヲ行ヒ海軍大根據定ノ日時ニ應召員ヲ夫々各鎮守府ノ海兵團ニ發着セシム

(ハ) 鎮守府司令長官ハ應召員發着シタルトキ身體検査ヲ履行シ身體、學歷並ニ技能等ヲ斟酌シテ海軍大臣令達ノ兵種別要員ニ應ジ夫々兵種ヲ決定シ海軍ノ兵種ニ編入セシムルト同時ニ之ヲ充員召集ス

(ニ) 但シ令達以外ノ兵種ニ選スト認ムル者ハ海軍大臣令達ノ兵種別ニ拘ラス機宜兵種ヲ變更シ之ニ二等兵ヲ命ス

(ホ) 鎮守府司令長官ハ海軍人學部長ヲシテ海軍ノ兵種ニ編入シ得サル者ニ



<p>學校ニ配員ノ モノ</p>	<p>別ニ定ムル所ニ依ル</p>
<p>海兵團ニ配員 ノモノ 右以外ノ所轄 ニ配員ノモノ</p>	<p>新兵教育ニ準ジ實施ス 固有任務遂行ト併行シ別紙 教育綱領ニ依リ實施ス</p>
<p>約三月中</p>	
<p>イ 基礎教育ヲ實施スル所轄長ハ部下 職員ニ所要ノ指導官及同附ヲ命ス</p>	
<p>四 所轄長ハ基礎教育ヲ終了シタル時實 施經過ノ概要以テ所見ヲ所屬長官ニ提 出スルト共ニ各一冊ヲ本人在籍ノ鎮守 府司令長官、海軍省教育局長及海軍省 人學局長ニ送付スルモノトス</p>	
<p>五 一等兵ヘノ進級ハ二等兵ヲ命セラレ タル日ヨリ三月中ニ選シタルトモ所轄 長之ヲ行フ</p>	
<p>現職階中ノ勤務日數（海軍武官進級令 第九條ノ規定ニ準ジ計算ス）二月ニ滿 當</p>	

海 軍 一 三 六



タザル者又ハ勲務ノ成績不良ナル者ハ  
 二月以内適宜進級實施期日ヲ延期ス  
 但シ延期ニ依ル進級期日ヲ毎月一日及  
 十六日トス  
 所轄長進級ヲ行ヒタルトキハ進級名簿  
 ヲ作製シ速ニ之ヲ本人在職鎮守府ノ海  
 軍人學部長ニ通報ス  
 六 基礎教育實施中ノ者ハ特別ノ事由ア  
 ル場合ノ外他ニ轉勤セシメザルモノト  
 ス  
 七 鎮守府司令長官ハ基礎教育中ノ者又  
 ハ同教育ヲ終了シタル者ノ中死員名集  
 不適ト認ムルモノアルトキハ之ヲ解除  
 スルコトヲ得  
 所轄長ハ死員名集解除並當ト認ムル者  
 アル時ハ詳細ニ事由ヲ附シ本人在職鎮守  
 府

海軍 第一三七

守府司令長官ニ具申スルト共ニ所屬長官ニ報告スルモノトス

八 考課調査表及履歴表ノ調製ハ茲ニ依ル

(イ) 考課調査表

賞分ノ間調製セズ

(ロ) 履歴表

(一) 調製ノ時日餘裕ナキ場合海兵團長ハ本人ニ履歴表用紙及間調製資料ヲ携帶セシム但シ調製資料ハ三通ヲ準備シ一通ハ海兵團ニ保管シ一通ハ本人在籍鎮守府ノ海軍人學部ニ送付シ一通ハ本人ヲシテ配員先遣轉ニ携行セシム

(二) 所屬長官職ニ該當スル者轉入シタルトキハ分隊長ヲシテ選ニ本人

海 軍 三 八

ノ履歴要ヲ調製セシメ其ノ要領上  
 部欄外ニ一ノ所補調製トテ朱筆セシ  
 ム但シ成ルベク早期ニ在籍鎮守府  
 ノ海軍人等部ニ於テ保管スル履歴  
 原表ニ就キ照合セシムルモノトス  
 (四) 海軍人等部長ハ海兵團ヨリ配員  
 先ヘ轉動スル途ノ間ニ於ケル履歴  
 配註例ヲ示シ之ガ整一ヲ圖ルモノ  
 トス

九 輸送要領

(一) 海上輸送ニ依ルモノノ東艦(船)  
 地及期日等ハ海軍運輸部長ノ定ムル  
 所ニ依ル

(二) 輸送ニ際シテハ成シ得ル限り陸路  
 裡ニ行動スル

一〇 上海海軍特別陸戰隊ニ於テ教育ス

海軍 一三九

<p>十七日 海軍大臣 佐世保鎮守府司令 長官</p>	<p>ベキモノニ關シテハ昭和十七年官房機 密第一四五七九號及同號ノニ依ルモ ノトス  (別紙略)</p>
<p>官房機密第八七四號 上海海軍航空隊(假稱)ニ兵 機裝備ノ件訓令 第二十一海軍航空隊ヲシテ首題ノ件左記 ニ依リ施行セシムベシ 記</p>	<p>工學製領 第二十一海軍航空隊保管ノ次項記載整 備長由管長海ヲ上海海軍航空隊(假稱) ト關係ノ上同隊ニ裝備スルモノトス 警 兵所兵機</p>

海

第一四〇

1058

品名	数量	記事
プロペラ鈎合試験器 二型	一組	
回轉速度計試験器 陸上用	一組	
油壓計試験器 潤滑油燃料油兼用	一組	
磁石發電機試験器 陸上用	一組	
磁石發電機勵磁器	一組	
氣化器 試験器	一組	
燃料計 試験器	一組	
速度計 試験器 陸上用	一組	
高度計 試験器 陸上用	一組	
溫度計 試験器 陸上用	一組	
プロペラ試験器	一個	
定温乾燥器 陸上用	一組	
充電器 小型蓄電池充電用	一組	

完成期日

海

軍  
二  
四

譽

文

<p>十八日 海軍大臣</p>	<p>二十一日 佐世保鎮守府司令 長官 柳合監隊、第五 艦隊、吳鎮守府 各司令長官</p>	<p>官房機密第二五六五號 特設水上機母艦若川丸ニ假稱 電波探偵機裝備ノ件訓令 佐世保海軍工廠ヲシテ首端ノ件左記ニ依 リ施行セシムベシ 記</p> <p>工學要領 (1) 九〇種探照燈及同附屬兵器ヲ撤去シ 其ノ跡ニ一〇種探照燈ヲ移裝ノ上 電源裝置其ノ他ノ諸裝置ヲ整備ス</p>	<p>昭和十八年十二月三十一日 四所要經費 臨時軍事費 臨時軍事費 造船遣兵及 修理費 遣修費(空兵) 別途配付隊算 内支辨トス</p> <p>文</p>
---------------------	---	--	---

海軍 第一三三

(ロ) 一〇 艦探照燈撤去跡ニ新ニ供給ノ  
 以五 施同装置及燈塔ヲ整備ノ上之ニ  
 假稱二 艦電波探偵機一型ヲ整備シ電  
 源機置、指揮通信装置及其ノ他ノ諸  
 装置ヲ整備ス

(ハ) 艦針羅術適當ナル位置ニ方位測定機  
 置ヲ新設シ規模ノ方位測定機ヲ移裝  
 ノ上電源電路ヲ整備ス

(ニ) 工學ノ詳細ニ關シテハ海軍艦政本部  
 長ヲシテ直接佐世保海軍工廠長ニ通  
 廉セシム

三 所委兵器  
 海軍艦政本部長ヲシテ直接佐世保海軍  
 軍需部長ニ通廉セシム

四 試 驗  
 左ノ試験ヲ施行ス

又

警

海 軍 一 四

1901

三十一日  
佐世保鎮守府

(1) 對航空機操偵能力

(2) 對艦艇探偵能力

(3) 本設置ト本艦艇編組偵察裝置トノ相

互干涉

(4) 其ノ他必要ト認ムル事項

四 完 成 期

時機ヲ得次第成ルベク速ニ

五 費 目

臨時軍事費 臨時軍事費 造船造兵及

修理費 造修費 一般改装(船)(砲)

(電)(線)一括配付課算内支辨トス

佐鎮機密第四〇〇號ノ一八ノ五

六月中本府所屬艦艇送船行動隊定

船名 佐世保鎮守府 港 地

附 丸五 月六 月 島嶼、佐世保、長崎

文

警

海

軍一四〇



<p>二十一日一八〇〇 海軍大臣</p>	<p>二十一日〇九三〇 佐世保鎮守府司令 長官</p>	<table border="1"> <tr> <td>萬光丸</td> <td>かよさ</td> <td>辰和丸</td> <td>幸成丸</td> <td>興東丸</td> <td>第二丸</td> <td>かよさ</td> <td>とよさ</td> </tr> <tr> <td>六日</td> <td>六日</td> <td>六日</td> <td>六日</td> <td>六日</td> <td>六日</td> <td>二十五日</td> <td>二十五日</td> </tr> <tr> <td>二十四日</td> <td>二十一日</td> <td>十三日</td> <td>十一日</td> <td>四日</td> <td>四日</td> <td>二十六日</td> <td>二十六日</td> </tr> <tr> <td>八月</td> <td>七月</td> <td>七月</td> <td>七月</td> <td>七月</td> <td>七月</td> <td>六月</td> <td>六月</td> </tr> <tr> <td>六月</td> <td>九月</td> <td>十六日</td> <td>十五日</td> <td>五日</td> <td>五日</td> <td>十八日</td> <td>十八日</td> </tr> <tr> <td>國府、高尾、門司</td> <td>上海、大阪、八幡</td> <td>益池、高尾、三頭、橋林</td> <td>佐世保、八幡</td> <td>高尾、三頭、橋林</td> <td>高尾、三頭、橋林</td> <td>青島、上海、大阪、八幡</td> <td>青島、上海、大阪、八幡</td> </tr> </table>	萬光丸	かよさ	辰和丸	幸成丸	興東丸	第二丸	かよさ	とよさ	六日	六日	六日	六日	六日	六日	二十五日	二十五日	二十四日	二十一日	十三日	十一日	四日	四日	二十六日	二十六日	八月	七月	七月	七月	七月	七月	六月	六月	六月	九月	十六日	十五日	五日	五日	十八日	十八日	國府、高尾、門司	上海、大阪、八幡	益池、高尾、三頭、橋林	佐世保、八幡	高尾、三頭、橋林	高尾、三頭、橋林	青島、上海、大阪、八幡	青島、上海、大阪、八幡
萬光丸	かよさ	辰和丸	幸成丸	興東丸	第二丸	かよさ	とよさ																																											
六日	六日	六日	六日	六日	六日	二十五日	二十五日																																											
二十四日	二十一日	十三日	十一日	四日	四日	二十六日	二十六日																																											
八月	七月	七月	七月	七月	七月	六月	六月																																											
六月	九月	十六日	十五日	五日	五日	十八日	十八日																																											
國府、高尾、門司	上海、大阪、八幡	益池、高尾、三頭、橋林	佐世保、八幡	高尾、三頭、橋林	高尾、三頭、橋林	青島、上海、大阪、八幡	青島、上海、大阪、八幡																																											
<p>機密第二一八〇〇番電 佐世保海軍工廠、佐世保海軍軍需部及佐世保防備隊ヲシテ在庫九三式機雷三型一二粒全長七五米繫維索附一五〇個ヲ昭和十八年六月末迄ナル可ク過ニ炸填裝備セムベシ</p>	<p>無 無 無 又</p>																																																	

海軍第一四五

<p>二十日 海軍省兵備局</p>	<p>二十二日 佐世保鎮守府參謀</p>	<p>兵備一機密第一號ノ一四八ノ四 沖繩海岸局ニ海軍軍人ヲ派遣</p>
<p>二十二日〇三三 上海根拠地隊 參謀長</p>	<p>二十二日二三五五 佐世保鎮守府參謀 長上野海軍省 各部隊第六門隊 各指官若松各 長指官若松各 海軍武官 佐世保鎮守府 司令官佐世保 防衛隊佐世保 海軍伊勢艦各 令軍伊勢艦各 勅令伊勢艦各 風軍武官長</p>	<p>機密第二二一〇二三番電 一 支隊第二一船團泰山丸銀石六一〇〇艦、 若松丸銀石三六〇〇艦以上八艦行 二 護衛艦參風速力八節 三 二十二日〇九三〇吳淞發大瀬崎直航二 十四日〇八〇〇富江沖着古志岐附近ニ テ解列二十五日未明六連着ノ激定 四 正午位置 二十五日北緯三一度四三分東經一二五 度四一分</p>
		<p>費目カ(ワタ)兵備整備(ライ)一括配 付豫算内支辨トス</p>

海軍一兵

<p>三十三日 佐世保鎮守府 司令長官</p>	<p>長</p>
<p>機密 佐世保鎮守府命令第一八八號</p>	<p>長</p>
<p>五ニ依リ本年官房人機密第一七三號訓令 ニ依ル海軍第一補充兵並ニ第二補充兵及 第二國民兵ニ對スル充員名案ヲ實施ス 一海軍第一補充兵ノ充員名案 (イ) 添著期日及員數 別表第一ノ趣 (ロ) 添著場所 佐世保第一海兵團</p>	<p>期滿キレムル件申進 官題ノ件題價省ト斷續濟ニ付兵備三機密 第三號ノ二〇三ノ二及兵備一機密第一號 ノ五〇ニ依リ交通保險通信指導方可然取 計相成度 題ヲ特ニ定員ハ増加セラレザル内意ニ 付當々機カレ度</p>

海 軍 一四七

一 第二補充兵及第三國民兵ノ充員名集

(1) 第二補充兵及第三國民兵ハ陸軍ニ於

テ臨時召集ニ依リ佐世保第一海兵團

ニ參著セシメラル之ガ參著期日及員

數別表第二ノ通

(2) 佐世保第一海兵團長ハ參著時ノ身體

検査合格者ニ付學歷及ニ技能ヲ參酌

シテ適當ト認ムル兵種ヲ決定シ佐世

保海軍人事部長ニ通知スベシ之ガ兵

種別決定標準員數別表第三ノ通

(3) 二等兵ヲ命セラレタル者ニ對シ其ノ

日ヲ以テ充員名集ヲ實施ス

為 佐世保海軍人事部長・佐世保第一海兵

團長・佐世保海軍經理部長及佐世保海

軍軍需部長ハ充員名集關係業務ヲ實施

スベシ

又

海

軍一覽

四 佐世保第一海兵團長ハ應召員ヲ著シタ  
 ルトキ直ニ身體検査ヲ行ヒ勳勤ニ堪ヘ  
 スト認ムルモノアルトキハ本府召集實  
 施規程第八條ノ規定ニ拘ラス直ニ召集  
 解除ノ手續ヲ執リ即日歸郷ヲ命ジ其ノ  
 本籍地、復職及兵糧、氏名並ニ學由ヲ  
 佐世保海軍人學部長ニ通知スベシ  
 五 佐世保第一海兵團長ハ海軍第一補充兵  
 應召員ニシテ身體検査ニ不合格ト爲リ  
 タル者ノ甲種ノ兵糧ニ適スト認ムルモ  
 ノアルトキハ機宜兵糧ヲ變更シ其ノ旨  
 佐世保海軍人學部長ニ通知スベシ  
 六 佐世保第一海兵團長ハ應召員ノ勤著狀  
 況ヲ調査シ佐世保海軍人學部長ニ通知  
 スベシ  
 七 細目ニ關シテハ佐世保海軍人學部長ヲ  
 參

海 軍 一 四 九

(別表第一)

シテ指示セシム

海軍第一補充兵充員召集期日別員數

計	昭和		和		十		八		年	
	七月十五日	七月一日	八月一日	八月十五日	九月一日	九月十五日	十月一日	計	計	計
水兵	五三一	二六一		六六九				五三一	六六九	二六一
整備兵										
機關兵										
計	五三一	二六一		六六九				五三一	六六九	二六一
水兵		七八三	一三八	一三八	六六九	一八〇〇	六八〇	五九四〇	二四一〇	七五五〇
整備兵										
計		七八三	一三八	一三八	六六九	一八〇〇	六八〇	五九四〇	二四一〇	七五五〇
合計	五三一	七八三	一三八	一三八	一三三九	一八〇〇	一三八〇	八九三九	九一〇〇	一〇三〇〇

備考  
 一 佐世保第一海兵團參著時刻ハ〇八〇〇トス  
 二 警務署長又ハ市長ヘノ宛員名集ノ修繕ハ適當ナル時期  
 三 逐次行フモノトス

(別表第二)

第二補充兵及第三國民兵宛員名集期日別員數

昭和八年	六月一日	六月十五日	七月一日	八月一日	九月一日	計
第二補充兵	1,930	800	590	1,180	380	5,750
第三國民兵	1,930	1,690	590	1,180	380	6,760
計	3,860	2,490	1,180	2,360	760	12,510

佐世保第一海兵團參著時刻ハ  
 〇八〇〇トス

(別表第三)

海軍ニ充員台案スル第二補充兵及第二國民兵簽署後  
ニ於ケル兵種決定標準員數

年 月 日	第一補充兵		第二國民兵		合計
	水兵	整備兵計	整備兵	機關兵衛生兵主計兵計	
昭和十八年六月一日	13,500	12,500	6,000	11,000	16,900
六月十五日	8,000	8,000	6,000	11,000	16,900
七月一日			5,000	11,000	16,900
八月一日			5,500	1,000	16,900
九月一日				1,000	16,900
計	17,000	14,000	12,500	14,000	26,800



三十二日  
佐世保鎮守府  
司令長官

鐵衛佐世保鎮守府命令第一八九號

佐世保鎮守府命令

左ニ依リ本年官房人機密第一九〇號訓令

ニ依ル海軍第一補充兵ノ充員召集ヲ實施

ス

マ範 國

現ニ教育召集中ノ海軍第一補充兵

召集員數及期日

兵種	員數	召集期日
水兵	四九〇	昭和十八年六月一日
機關兵	二四四	
計	七三四	

佐世保海軍人學部長ハ通ニ充員召集  
事務實施ス

文

書

海

軍  
一五三



<p>十七日 海軍省軍務局</p>	<p>二十三日 各鎮守府 海軍省 各警備</p>	<p>軍務一機密第三九八號 武裝閣船配來ノ警戒員ニ關 スル件申進</p> <p>首魁警戒員ノ教育訓練ヲ徹底セシメ其ノ 身上取扱ノ給與等ヲ適切ナラシムル爲從 來各海軍警備隊ニ於テ適當セシ右關係事 項ヲ目今偵須賀海軍警備隊ニ於テ一抽檢 當シ各地方在劔海軍武官之ニ協力セシム ルコトニ定メラレタルニ付可然取計相成</p>	<p>講習期間 自六月八日 至七月七日</p> <p>集會場所 館山海軍砲術學校</p> <p>第十九、第二十、第二十九、第三十防壁隊</p> <p>講習期間 自六月十五日 至七月十四日</p> <p>集會場所 横須賀海軍砲術學校</p> <p>文</p>
-----------------------	--------------------------------------	---	--

海軍一五五

<p>二十三日 佐世保鎮守府 司令長官</p>	<p>二十三日 佐世保鎮守府 司令長官</p>
<p>佐世保鎮守府 司令長官 佐賀、福岡 鹿兒島、宮</p>	<p>佐世保鎮守府 司令長官 佐賀、福岡 鹿兒島、宮</p>
<p>佐世保鎮守府第六三一號ノ二〇 宛員名簿ノ件通知</p>	<p>機密佐世保鎮守府命令第一八七號 佐世保鎮守府命令 一 佐世保海軍港務部長ハ保管中ノ三五艘 積算油槽船二隻中一隻ヲ五月二十二 日出港認定ノ與東丸ニ搭載、一隻ヲ同 船ニテ曳航シ得ル如ク整備スベシ 二 佐世保海軍工廠長或ハ佐世保地方海軍 運輸部長ハ右ニ關シ協力スベシ 三 機密佐世保鎮守府命令第一七七號ハ之 ヲ取止ム</p>

海

軍一五六



長  
檜林運轉部

備品、木材、便乗者一七八名高樫  
正午位置

二十四日相崎瀬戸二十五日三二度三〇  
分一二五度三三分

南下瀬花島山ニテ分離大陸換岸高樫二  
十九日〇八〇〇檜林六月一日〇八〇〇  
着ノ際定

正午位置

二十六日 酒磯山西方

二十七日 二七度三九分 一一二度二七分

二十八日 二四度五五分 一一九度三〇分

二十九日 二三度四八分 一一六度四八分

三十日 二二度四〇分 一一一度四〇分

三十一日 一九度四〇分 一一一度一五分

四 護衛艦平島及昭慶丸二十四日一二〇〇  
相崎瀬戸ニテ會合ス

瀬

無

海

軍  
一五八

<p>二十一日〇三〇 奉 鳳 艦 遂 艦 長</p>	<p>二十一日一三三〇 佐世保鎮守府參謀長 佐世保切通艦隊長 佐世保海軍基地 司令官 第二哨隊隊長 （揮官）</p>	<p>二十四日 佐世保鎮守府 司令官</p>	<p>機密第二四一〇三〇番電 支第二一一般圖二十三日正午以後荒天ノ爲 船團航行困難トナリ二十四日一〇三〇五 島四方約三〇浬ニ於テ豫定ノ航路獨航ヲ 命ス毎時無線連絡ニ依リ異狀ナキヲ確認 ス</p>						
<p>機密佐世保鎮守府命令第一九〇號 昭和十八年六月廿二於ケル各部訓練ニ對 スル飛行機ノ協力ニ關シテノ規定ム</p>	<table border="1"> <tr> <td data-bbox="526 929 837 1019"> <p>作 業 日 (曜) 時</p> </td> <td data-bbox="526 1019 837 1444"> <p>作 業</p> </td> <td data-bbox="526 1444 837 1534"> <p>飛 行 機</p> </td> <td data-bbox="526 1534 837 1881"> <p>實 施 要 領</p> </td> </tr> <tr> <td data-bbox="327 929 526 1019"> <p>一 一 (火)</p> </td> <td data-bbox="327 1019 526 1444"> <p>午 電 波 探 信 機 探 信 線</p> </td> <td data-bbox="327 1444 526 1534"> <p>實 施 ノ 細 目 ニ 關 シ テ ハ 夫 々 實 施 ス ル モ ト ス</p> </td> <td data-bbox="327 1534 526 1881"> <p>警</p> </td> </tr> </table>	<p>作 業 日 (曜) 時</p>	<p>作 業</p>	<p>飛 行 機</p>	<p>實 施 要 領</p>	<p>一 一 (火)</p>	<p>午 電 波 探 信 機 探 信 線</p>	<p>實 施 ノ 細 目 ニ 關 シ テ ハ 夫 々 實 施 ス ル モ ト ス</p>	<p>警</p>
<p>作 業 日 (曜) 時</p>	<p>作 業</p>	<p>飛 行 機</p>	<p>實 施 要 領</p>						
<p>一 一 (火)</p>	<p>午 電 波 探 信 機 探 信 線</p>	<p>實 施 ノ 細 目 ニ 關 シ テ ハ 夫 々 實 施 ス ル モ ト ス</p>	<p>警</p>						

海 軍 一 五 九

佐 空 水 偵 一						
八 一六 (水)	七 一五 (火)	六 一四 (金)	五 八 (火)	四 八 (火)	三 四 (金)	二 三 (木) 四 (金)
間夜	前午	前午	間夜	前午	後午	間晝
照依 射警 教隊	探電 偵波 教探 練偵	測佐 的的 教隊	測佐 的警 教隊 照射	教第 練十三 (回防空 第一法)	測佐 的警 教隊	第 一 次 見 張 檢 定 佐 警 隊 第 一 回
二 作 業 番 號 「五」	二 作 業 番 號 「一」	二 作 業 番 號 「三」	モ ニ ハ ン 於 夫 ノ ト ス 於 夫 ノ ト ス 協 議 ス ル	吹 流 船 の 曳 航 任 務 ノ 爲 メ シ テ ハ ン 目 的 ヲ 以 テ ハ ン 協 議 ス ル	ス ル モ ノ ト ス 於 夫 ノ ト ス 協 議 ス ル	ス ル モ ノ ト ス 於 夫 ノ ト ス 協 議 ス ル
	醫					文

海軍 120



<p>二十四日 佐世保鎮守府 參謀長</p>	<p>關 係 各 部</p>	<p>佐世保鎮守府第五〇號ノ二一ノ四 海上交通保護用航路編進用ノ件通知 佐世保鎮守府第五〇號ノ二一別冊附錄大東 亞戰時佐世保鎮守府海上交通保護要領</p>	<p>備考 天候其ノ他ノ情況ニ依リ日時ヲ變更スルコト ヲ得</p>	<p>一三 元(六)月(火) 間晝 佐世保鎮守府第一回 第二次見張檢定</p>	<p>一二 五(金) 間晝 佐世保鎮守府第一回 第三回教練別冊</p>	<p>一一 五(水) 間夜 測的教練別冊</p>	<p>一〇 五(水) 依午 第十回測的 教練(第一法)</p>	<p>九 八(金) 測午 測的教練</p>	<p>作業書號「三」 ニ同シ 作業書號「一」 ニ同シ 作業書號「五」 ニ同シ 石 岡</p>	<p>文</p>
--------------------------------	----------------	---	---------------------------------------	---	---	--------------------------	-------------------------------------	-----------------------	--	----------

海 軍 一六二

<p>一般船舶用（附録中船種ノ航行管轄用圖）        左ノ航路線ヲ追加ス</p>	<p>航路</p>	<p>三一五〇 自瀬北方ヨリ濟州島北廻上海</p>	<p>行</p>	<p>三一五一 自瀬ヨリソコトラ北廻花島山</p>	<p>三一五二 大瀬崎ト花島山直航航路</p>	<p>三一五三 女島南方ヨリ花島山ニ至ル</p>	<p>三一五四 富江ヨリ南下舟山島ニ向ケ花島山ニ至ル</p>	<p>三一五〇 那覇ヨリ久米島、尖頭嶺島北廻航路</p>	<p>三一五一 沖繩ト基隆直航航路</p>	<p>三一五二、三一五三、三一五四</p>	<p>那覇ヨリ宮古島、石垣島北方ヲ經テ基隆</p>
---	-----------	---------------------------	----------	---------------------------	-------------------------	--------------------------	--------------------------------	------------------------------	-----------------------	-----------------------	---------------------------

海 軍 空